

「化学と工業」

第 38 卷 (1985) 総索引

(カッコ内の数字は掲載月, 太数字は通しページ, *は各特集関連のもの)

【特集テーマ】

教育の基本問題を考えるIV—企業とひと……………	(1)
化学のフロンティア トピックス小委員会企画……………	(2)
燃焼と爆発—プロメテウスの火……………	(3)
計算「器」化学—フラスコにかえて計算機を……………	(4)
嫌われ元素の効用—As, Hg, Cd……………の化学……………	(5)
イメージングテクノロジー—科学万博によせて……………	(6)
くだおれの化学—グルメの世界……………	(7)
新ファール昆虫記—物質サイドからのアプローチ……………	(8)
つなぐ化学—生命から宇宙まで……………	(9)
超・薄・微の世界—ハイテクをひらく……………	(10)
ゼオライト—その古くて新しいもの……………	(11)
化学のフロンティアII—若き研究者の周辺で……………	(12)

【時 評】

* 企業が求めるこれからの化学技術者……………笠間祐一郎 (1)	1
* これからの化学に期待するもの……………長倉 三郎 (2)	81
* プロメテウスの火を追って……………正田 強 (3)	173
* コンピューター化学技術への要望……………藤田 稔夫 (4)	247
* “嫌われ元素”の勤務評定……………黒谷 寿雄 (5)	323
* なま身の存在と科学……………岡本 太郎 (6)	405
* 味……………満田 久輝 (7)	501
* 昆虫学と化学……………石井象二郎 (8)	581
* 対談 つなぐ化学をめぐる……………畑 敏雄	
食林育四郎 (9)	657
* 極微の世界と工業……………安福 真民 (10)	737
* ゼオライト化学への期待……………富永 博夫 (11)	817
* 若さに嫉妬する……………吉川 貞雄 (12)	

【解 説】

* 企業における人材の育成と大学教育への要望 —アンケート集計結果…………… (1)	1
「企業内教育の実情紹介と企業の考え方」 * 異種事業進出のための企業内教育—人工腎臓 企業化における事例—旭メディカルの場合 ……………大野 邦夫 (1)	8
* 有能なビジネスマンを育てる—エクソン化学での 経験からの私論……………小島 尚剛 (1)	10
* 研究開発部門を例とする企業内教育—花王石鹼の場合 ……………齊藤 誠宏 (1)	12
* 企業環境の安寧期に対応する企業教育 —神戸製鋼所の場合……………大森 史郎 (1)	14
* よき企業人, よき社会人の育成をめざして —武田薬品の場合……………中野 文雄 (1)	16
* 総合商社化学品本部の新入社員教育 —日商岩井の場合……………吉岡 敬恭 (1)	18
* 三変化のマーケティング研修……………佐藤 国雄 (1)	20
「一般社会啓蒙, 広報活動の実例紹介」 * 日化協の広報活動—ヨーロッパ諸国の 広報活動にもふれて……………坂原 禮三 (1)	22
* BASF 日本の企業広告……………関 昭雄 (1)	25
* 旭化成ウラン濃縮研究所の場合……………今村 壽明 (1)	27
* スーパーコンピューターと分子科学……………小杉 信博 (2)	82

* 極低温気体のレーザー分光—分子化合物の紫外分光 ……………三上 直彦 (2)	85
* 分子軌道の形をつかむ—ベニング電子分光の 最近の進歩……………大野 公一 (2)	88
* NMR で生物を見る……………大久保 明 (2)	91
* 膜電極によるイオン, 分子の検知……………梅澤 喜夫 (2)	94
* 何が見えはじめたか—最近の EXAFS の進歩 ……………佐野 充 (2)	97
* ミュー中間子の化学—新しい元素がつくる反応 ……………近藤 保 (2)	100
* テクトロム P-450 のモデル反応……………蝦名不二夫 (2)	103
* 立体制御—新しい展開……………小林 雄一 (2)	106
* 微生物や酵素を利用する有機合成……………小林 進 (2)	110
* 何が酸素毒性を引き起こすのか—O ₂ と SOD をめぐる最近の話題……………山倉 文幸 (2)	113
* 細胞内情報伝達における脂質の役割—ホルモン作用, 細胞増殖, がん化……………竹嶋忠臣 (2)	116
* 血小板活性化因子の構造と機能—生物活性 を持つ最初のリン脂質……………里内 清 (2)	119
* モノクローナル抗体の化学への応用 —生体活性物質の精製および定量のために ……………杉村 和久 (2)	122
* 燃焼の化学反応—その展望……………幸田清一郎	
土屋 莊次 (3)	176
* 燃焼—化学反応と熱と流れ……………辻 廣 (3)	181
* 燃焼と伝熱のはざま……………越後 亮三 (3)	185
* コンピューターゲームストーリーのシステム ……………吉本 昌文	
宮本 秀一 (4)	248
* コンピューターゲームストーリーとデータベース ……………高山千代蔵	
吉田 元二 (4)	252
* モレキュラグラフィックス……………安岡 則武 (4)	256
* 分子の理論設計をめざして—量子化学計算の役割 ……………藤本 博	
吉田 郷弘 (4)	260
* 計算機実験—まだ実験したことのない人のために ……………山本 常信 (4)	264
* 生物地球化学的に見たヒ素—嫌われもののヒ素は 生物体内でどう変わっていくだろうか ……………戸田 昭三 (5)	324
* 「砒素」と人間の歴史……………山崎 昶 (5)	328
* 水銀, 人とかかわりと輪廻……………西村 雅吉 (5)	332
* 金属—炭素結合の典型—有機水銀化合物 ……………齊藤 泰和 (5)	336
* 泥まみれの金属 カドミウム……………山縣 登 (5)	340
* 嫌われ元素の毒性……………藤井 正美 (5)	344
* 生物に学ぶ映像技術……………吉本 千嶺 (6)	406
* 体内をさぐる最近のイメージ診断技術 ……………喜多 紘一	
飯沼 一浩 (6)	410
* カラー化進むフラットディスプレイ……………河角 伸治 (6)	414
* 限りなく広がるコピー技術を追う……………大淵 一雄	
滝口 孝一 (6)	418

「化学と工業」

第 38 卷 (1985) 総索引

(カッコ内の数字は掲載月, 太数字は通しページ, *は各特集関連のもの)

【特集テーマ】

教育の基本問題を考えるIV—企業とひと	(1)
化学のフロンティア トピックス小委員会企画	(2)
燃焼と爆発—プロメテウスの火	(3)
計算「器」化学—フラスコにかえて計算機を	(4)
嫌われ元素の効用—As, Hg, Cd—の化学	(5)
イメージングテクノロジー—科学万博によせて	(6)
くだおれの化学—グルメの世界	(7)
新ファール昆虫記—物質サイドからのアプローチ	(8)
つなぐ化学—生命から宇宙まで	(9)
超・薄・微の世界—ハイテクをひらく	(10)
ゼオライト—その古くて新しいもの	(11)
化学のフロンティアII—若き研究者の周辺で	(12)

【時 評】

* 企業が求めるこれからの化学技術者	・笠間祐一郎 (1)	1
* これからの化学に期待するもの	・長倉 三郎 (2)	81
* プロメテウスの火を追って	・正田 強 (3)	173
* コンピューター化学技術への要望	・藤田 稔夫 (4)	247
* “嫌われ元素”の勤務評定	・黒谷 寿雄 (5)	323
* なま身の存在と科学	・岡本 太郎 (6)	405
* 味	・満田 久輝 (7)	501
* 昆虫学と化学	・石井象二郎 (8)	581
* 対談 つなぐ化学をめぐる	・畑 敏雄 食林育四郎 (9)	657
* 極微の世界と工業	・安福 真民 (10)	737
* ゼオライト化学への期待	・富永 博夫 (11)	817
* 若さに嫉妬する	・吉川 貞雄 (12)	

【解 説】

* 企業における人材の育成と大学教育への要望 —アンケート集計結果—	(1)	1
「企業内教育の実情紹介と企業の考え方」		
* 異種事業進出のための企業内教育—人工腎臓 企業化における事例—旭メディカルの場合	・大野 邦夫 (1)	8
* 有能なビジネスマンを育てる—エクスン化学での 経験からの私論—	・小島 尚剛 (1)	10
* 研究開発部門を例とする企業内教育—花王石鹼の場合	・齊藤 誠宏 (1)	12
* 企業環境の安寧期に対応する企業教育 —神戸製鋼所の場合—	・大森 史郎 (1)	14
* よき企業人, よき社会人の育成をめざして —武田薬品の場合—	・中野 文雄 (1)	16
* 総合商社化学品本部の新入社員教育 —日商岩井の場合—	・吉岡 敬恭 (1)	18
* 三変化のマーケティング研修	・佐藤 国雄 (1)	20
「一般社会啓蒙, 広報活動の実例紹介」		
* 日化協の広報活動—ヨーロッパ諸国の 広報活動にもふれて—	・坂原 禮三 (1)	22
* BASF 日本の企業広告	・関 昭雄 (1)	25
* 旭化成ウラン濃縮研究所の場合	・今村 壽明 (1)	27
* スーパーコンピューターと分子科学	・小杉 信博 (2)	82

* 極低温気体のレーザー分光—分子化合物の紫外分光	・三上 直彦 (2)	85
* 分子軌道の形をつかむ—ベニング電子分光の 最近の進歩—	・大野 公一 (2)	88
* NMR で生物を見る	・大久保 明 (2)	91
* 膜電極によるイオン, 分子の検知	・梅澤 喜夫 (2)	94
* 何が見えはじめたか—最近の EXAFS の進歩	・佐野 充 (2)	97
* ミュー中間子の化学—新しい元素がつくる反応	・近藤 保 (2)	100
* テクトロム P-450 のモデル反応	・蝦名不二夫 (2)	103
* 立体制御—新しい展開—	・小林 雄一 (2)	106
* 微生物や酵素を利用する有機合成	・小林 進 (2)	110
* 何が酸素毒性を引き起こすのか—O ₂ —と SOD をめぐる最近の話題—	・山倉 文幸 (2)	113
* 細胞内情報伝達における脂質の役割—ホルモン作用, 細胞増殖, がん化—	・竹嶋忠臣 (2)	116
* 血小板活性化因子の構造と機能—生物活性 を持つ最初のリン脂質—	・里内 清 (2)	119
* モノクローナル抗体の化学への応用 —生体活性物質の精製および定量のために—	・杉村 和久 (2)	122
* 燃焼の化学反応—その展望—	・幸田清一郎 土屋 莊次 (3)	176
* 燃焼—化学反応と熱と流れ—	・辻 廣 (3)	181
* 燃焼と伝熱のはざま	・越後 亮三 (3)	185
* コンピューターゲームストーリーのシステム	・吉本 昌文 宮本 秀一 (4)	248
* コンピューターゲームストーリーとデータベース	・高山千代蔵 吉田 元二 (4)	252
* モレキュラグラフィックス	・安岡 則武 (4)	256
* 分子の理論設計をめざして—量子化学計算の役割	・藤本 博 吉田 郷弘 (4)	260
* 計算機実験—まだ実験したことのない人のために—	・山本 常信 (4)	264
* 生物地球化学的に見たヒ素—嫌われもののヒ素は 生物体内でどう変わっていくだろうか—	・戸田 昭三 (5)	324
* 「砒素」と人間の歴史	・山崎 昶 (5)	328
* 水銀, 人とかかわりと輪廻	・西村 雅吉 (5)	332
* 金属—炭素結合の典型—有機水銀化合物	・齊藤 泰和 (5)	336
* 泥まみれの金属 カドミウム	・山縣 登 (5)	340
* 嫌われ元素の毒性	・藤井 正美 (5)	344
* 生物に学ぶ映像技術	・吉本 千嶺 (6)	406
* 体内をさぐる最近のイメージ診断技術	・喜多 紘一 飯沼 一浩 (6)	410
* カラー化進むフラットディスプレイ	・河角 伸治 (6)	414
* 限りなく広がるコピー技術を追う	・大淵 一雄 滝口 孝一 (6)	418

* 次世代イメージングテクノロジー……月見里礼次郎	吉田 兼紀 (6)	422
* 美味の世界—日本料理のおいしさとは	小林 彰夫 (7)	503
* 酒の香味成分の役割……西村 驥一 (7)	506	
* グルメとレオロジーの世界—好ましい食感とは	小俣 靖	
	木橋 浩子 (7)	509
* 料理のプロセスとうま味……高木 幸子 (7)	512	
* 昆虫ホルモンの化学と生理		
—ドラマチックな昆虫の一生……山下 興亜	後藤 俊夫 (8)	585
* 昆虫・そしてフェロモンの化学……西野 親生 (8)	589	
* 昆虫のアロモンおよびカイロモン		
—自己を守る昆虫の知恵……兼久 勝夫 (8)	593	
* 昆虫の行動制御にかかわる物質……深海 浩 (8)	597	
「接着剤のトピックス」		
* エンジニアリングセラミックスの成形成と	菅野 隆志 (9)	660
焼結における化学……西野 隆志 (9)	660	
* LNG 船と極低温用接着剤……川井 千秋 (9)	663	
* 炭素繊維強化複合材料		
—マトリックスと界面の役割……戸袋 邦朗 (9)	666	
* 阪工試法によるセラミックスの接着……江畑 儀弘	木下 実 (9)	668
* 特殊環境における接着剤—水中接着剤		
……小林 敏勝 (9)	670	
* 特殊環境における接着剤—生体用接着剤		
……宮入 裕夫 (9)	671	
* 特殊環境における接着剤—嫌気性接着剤		
……尾園 正義 (9)	672	
「自然の中のつながり」		
* 細胞と細胞のつながり……北村 邦夫 (9)	673	
* 生物がつくるつながり……松本 恒隆 (9)	676	
* 手術における神経のつながり……内田 均	澤崎 博次 (9)	679
* 微生物と高等植物をつなぐ植物病原菌の病原性と		
その制御……奥 八郎 (9)	682	
* 接ぎ木の話……町田 英夫 (9)	685	
「工業の中で生かされているつなぐ技術」		
* 電気用途での複合材料……森田 幹郎 (9)	687	
* 無機フィラーの表面改質……由井 浩 (9)	690	
* フィルム状接着剤と粘着加工商品……朝倉 正俊 (9)	693	
* 光ファイバーをつなぐ……中島 順 (9)	696	
* 実用化が進むポリマーアロイ……関 好孝 (9)	698	
* 分子デバイス……斎藤 吾吾 (10)	738	
* フォトケミカルホールバーニング……谷 俊朗 (10)	741	
* 超格子構造をもつ半導体の機能……樫田 俊一 (10)	745	
* 金属超薄膜……新庄 輝也 (10)	749	
* 異質分子膜における配列制御と機能……中原 弘雄 (10)	752	
* ゼオライト化学の源流をさぐる……小泉 光恵 (11)	818	
* ゼオライトの構造と化学		
—チャバゼイトからシリカライトまで……高石 哲男 (11)	822	
* ゼオライト構造とトポロジー……佐藤 満雄 (11)	826	
* ゼオライトにみる無機化学合成の新たな展望		
……木野村暢一	新 重光 (11)	830
* ゼオライト触媒の機能制御……小野 嘉夫 (11)	834	
* 分子内光化学反応のコントロール		
—メチレン鎖長効果と磁場効果……中垣 良一 (12)	902	
* 固体表面の構造決定—光電子回折を中心として		
……大門 寛 (12)	906	
* 光化学反応—レーザー散乱法によるガス分子の検出		

……田尾 博明 (12)	910
* ソフト化学による無機化合物の合成……吉川 信一 (12)	914
* メイニルス・ハバード系としての一次元鎖状	
ハロゲン橋かけ混合原子価錯体……山下 正廣 (12)	918
* 銅タンパク質と錯体化学—タイプ	
3 銅の構造と機能を探る……北川 進 (12)	922
* ダブルカルボニル化反応— α -ケト酸	
誘導体の新合成法……小沢 文幸 (12)	926
* 金属ポルフィリン錯体を触媒とする新しい有機合成と	
高分子合成……相田 卓三 (12)	930
* 重合性分子膜—制御された構造と機能	
……山口 和夫 (12)	934
* 形に特異的な弱い相互作用と化学反応の選択性	
……伊藤 真人 (12)	938
* タンパク質の膜透過……太田 成男 (12)	942
* tRNA の転写後修飾とコドン認識の制御	
……横山 茂之 (12)	946
* 分子から見た進化—細菌プラスミドを例として	
……正木 春彦 (12)	950
* 光触媒反応による化学の新しい新分野の開拓	
……橋本 和仁 (12)	954
* ヘリウム同位体地球化学……佐野 有司 (12)	958
〔アラビック〕	
文化功労者となられた内田俊一先生……矢木 栄 (1)	49
学士院会員となられた長倉三郎先生……田仲 二郎 (2)	147
* 爆発と可燃性ガスセンサー……磯部 満夫 (3)	199
* 爆発の医療への応用—微小発破による	
尿路結石の砕破……椎野 和夫	
渡辺 決 (3)	201
* 江戸吉原の火事……秋田 一雄 (3)	203
* 実験化学はどのように計算機に置き換えられるか	
……米田 幸夫 (4)	268
* 新しい生物科学とコンピューター……神沼 二真 (4)	270
* ドラックデザインへのパソコンの役割	
……朝尾 正 (4)	272
* 化学装置におけるコンピューター……宮南 啓 (4)	274
* プログラムにまつわる問題……鎌田 仁 (4)	276
* 金属と素—向う三軒両隣……石黒 三郎 (5)	348
* 電池での働き者—水銀、カドミウム……平井 竹次 (5)	350
* 塩素・アルカリ工業と水銀……日根 文男 (5)	352
* 嫌われ元素の医薬品としての効用……朝長 文弥 (5)	354
* セレンの効用……園田 昇 (5)	356
* 科学万博に花開く超実像映像技術……河合 輝男 (6)	426
* 資源を探索する宇宙の眼……古宇田光一 (6)	428
* 原子は本当に見えるのか……堀内 繁雄 (6)	430
* うま味とその周辺……上田 隆蔵 (7)	515
* キノコとうま味……大野 一男 (7)	517
* 京料理と食文化……佐竹 幸治 (7)	519
* マツノザイセンチュウとマツ枯れ……山中 啓 (8)	601
* クサカゲロウ誘引物質の起源—配糖体とテルペン	
……村井不二男 (8)	604
* 昆虫の摂食阻害物質……久保伊佐夫	
金 武祥 (8)	607
オールドアダルト研究者の闘魂	
—永井芳男先生をしのんで……吉川貞雄	
小田良平・佐々木 正・奥島 与 (9)	708
* モレキュラーコンポジット……梶山 千里 (10)	756
* 生体膜モデルと光化学デバイス……松尾 拓	
斎藤 英 (10)	758
* 超微粒子の物性とその機能……木村 啓作 (10)	760
* イオンビームと超微細加工……難波 進 (10)	762
* 分子線エビタキシーと超高真空……河津 璋 (10)	764

* クリーンハンドリング			
—海水中の鉛分析を例に—	室住 正世 (10)	766	
* 日本のゼオライト資源	漢 秀雄 (11)	838	
* ゼオライトと洗剤	小川 政英		
	奥村 統 (11)	841	
* 農・水・畜産業におけるゼオライトの活用	野田 修司 (11)	843	
* 最近のゼオライト吸着分離技術	菊地 光雄		
	忠夫 (11)	845	
Paul J. Flory 教授のご逝去を悼む	安部 明廣 (11)	872	
文部省学術用語集・化学編			
増訂新版の発行にあたって	畑 一夫 (11)	874	

〔ニュースから〕

NEDO における石炭液化の技術開発	上田 成		
	三木 康朗 (1)	29	
地球の規模における二酸化炭素濃度の増加と環境変化	戸塚 敏 (1)	32	
燃料プールの背景	西谷 尚道 (1)	35	
* 燃料の多様化。燃料性状と燃焼法	坂井 正康 (3)	189	
* ダイナマイトの時代は終わった—新しい産業用爆薬と今後の動向—	石井 旭 (3)	192	
* ケミカルターボエンジン	是松 孝治 (3)	194	
* 自動車排ガス問題のてん末	飯沼 一男 (3)	197	
* 海外におけるコンピューターケミストリーの動向	藤原 譲 (4)	278	
* 超高速 DNA 塩基配列分析法			
—ショットガン DNA シークエンス法について—	添田 栄一 (4)	281	
微生物を用いる二酸化炭素の利用	森永 豪 (4)	285	
* 水銀測定を利用した地熱源の探査	古賀 昭人 (5)	358	
* ベリリウム の効用	西田 精利 (5)	361	
半導体集積回路プロセスに使用されるガス	菅野 卓雄 (5)	364	
窒素固定の化学			
—新しい N ₂ の化学の開拓に向けて—	干鯛 眞信 (5)	367	
機能性クシ型グラフトポリマー	加藤 博之		
	東 貴四郎 (6)	432	
化学蓄熱とケミカルヒートポンプ	秋谷 鷹二 (6)	435	
透明・耐候・高硬度そして強靱なるシート			
(2 軸延伸メタクリル樹脂シート)	片岡 紘		
	石川 元 (6)	438	
磁性をもった炭素材料	平野 眞一 (7)	527	
窒化ケイ素耐熱材料の現況	山下 肇		
	今井 吉彦 (7)	531	
自動車用防錆鋼板への要求性能の変遷	原 富啓 (7)	534	
最新の食品保存技術、脱酸素剤	吉川 義夫 (7)	537	
高品質・大口径 GaAs 単結晶の製造	・福田 承生 (8)	610	
再結晶の新技術 圧力晶析法	・守時 正人 (8)	613	
機能性材料の新焼結法—固体熱間静水圧プレス法—	・守吉 佑介 (8)	616	
特集「ニューフェースポリマー—用途求めて」			
放射線利田タンパク固定化ポリマー	・嘉悦 勲 (10)	768	
電気をよく通すポリマー	・金藤 敬一 (10)	771	
光でのびちぢみするポリマー	・入江 正浩 (10)	774	
形を記憶するポリマー	・山本 美輔 (10)	777	
硬化時に体積がふえるポリマー	・加藤 仁		
	田口 裕務 (10)	780	
光通信用スラブレレンズ	・近江 成明		
	・浅原 慶之 (11)	848	
強誘電性液晶材料とデバイス	・吉野 勝美 (11)	851	

液晶材料の動向	・舛林 成和 (11)	854	
基板による液晶の表面配向—配向の強さを測る—			
	・横山 浩 (11)	857	
ハイライト “石炭と石油を化学が結びつけた COM 発電”		(1)	38
うごき		(1)	39
最近の特許から		(1)	43
ハイライト “転換する技術政策の基本方向”		(2)	125
うごき		(2)	126
最近の特許から		(2)	130
ハイライト “数量景気にわたる石油化学工業”		(3)	209
うごき		(3)	210
最近の特許から		(3)	214
ハイライト “出そろった石油化学の構造改善計画”		(4)	288
うごき		(4)	289
最近の特許から		(4)	293
ハイライト “互いの利点生かした EOG 提携”		(5)	370
うごき		(5)	371
最近の特許から		(5)	375
ハイライト “日韓化学肥料で協調に向かう”		(6)	441
うごき		(6)	442
最近の特許から		(6)	446
ハイライト “燃料電池—2000年には全発電能力の 10% に—”		(7)	540
うごき		(7)	541
最近の特許から		(7)	545
ハイライト “久々の大型投資に注目集まる石油化学”		(8)	619
うごき		(8)	620
最近の特許から		(8)	624
ハイライト “厳しい状況続く化学肥料業界”		(9)	700
うごき		(9)	701
最近の特許から		(9)	705
ハイライト “打ち出された EOG 協業化の第 2 弾”		(10)	783
うごき		(10)	784
最近の特許から		(10)	788
ハイライト “第 2 KR で伸びる化学肥料輸出”		(11)	860
うごき		(11)	861
最近の特許から		(11)	865
ハイライト “化審法改正の動き”		(12)	962
うごき		(12)	963
最近の特許から		(12)	967

〔表 彰〕

学会賞：伊東 敏氏「特異な構造と物性をもつ非ベンゼン系芳香族化合物とテルペノイドに関する研究」	(3)	A 75
学会賞：岡本邦男氏「新しい炭素陽イオンの合成ならびに反応に関する研究」	(3)	A 76
学会賞：植田彦氏「複素環の合成設計に関する研究」	(3)	A 77
学会賞：坪村 宏氏「分子間および固体界面における電子移動過程の究明」	(3)	A 78
学会賞：野依良治氏「新規有機化学反応開拓に基づく生理活性物質の合成」	(3)	A 79
学会賞：平井英史氏「分子錯体形成による選択的な合成と分離に関する研究」	(3)	A 80
学術賞：小川慎一郎氏「電子衝突光分光法による分子の励起・解離過程の研究」	(3)	A 81
学術賞：桑嶋 功氏「ケイ素およびセレンの特徴を活用した特異的有機合成反応の開発」	(3)	A 82

学術賞：木村栄一氏「大環状ポリアミン錯体化学の研究」	(3)	A 83
学術賞：田中虎一氏「固体表面における活性点の構造と反応の中間体に関する研究」	(3)	A 84
学術賞：村井真二氏「一酸化炭素の新規高選択的触媒反応の開発」	(3)	A 85
学術賞：柳田博明氏「組織制御による電子機能的セラミックスの設計と開発」	(3)	A 86
学術賞：生越久靖氏「環状テトラピロールと金属錯体に関する生物無機化学的研究」	(3)	A 87
進歩賞：浅見真年氏「光学活性ジアミンを活用する新しい高選択的不斉合成反応」	(3)	A 88
進歩賞：石渡 孝氏「段階的多光子励起法による分子の励起状態の研究」	(3)	A 89
進歩賞：佐藤直樹氏「有機固体の光電子分光法による物性化学」	(3)	A 90
進歩賞：戸部義人氏「骨格変換を用いる新規多環状化合物の合成」	(3)	A 91
進歩賞：淵上高正氏「炭素-炭素結合形成のための高選択的遷移金属触媒反応の開発」	(3)	A 92
進歩賞：萬代忠勝氏「イオウおよび均一系パラジウム触媒の特性を生かした有機合成反応に関する研究」	(3)	A 93
化学技術賞：藤崎宣達・片岡金吉・大野邦夫・桜田 洋・川井収治 各氏「中空糸膜を用いた液体浄化装置の開発」	(3)	A 94
化学技術賞：柏 典夫・豊田昭徳・岡岡 護・峯島英雄 各氏「高活性高立体規則性触媒を用いるポリプロピレン製造技術」	(3)	A 95
化学技術賞：山根敏美・豊田貞男・奥村 統・中沢忠久・小川政英 各氏「無リン洗剤の開発とその工業化技術の確立」	(3)	A 96
化学教育賞：柳 友彦氏「多方面にわたる積年の化学教育推進への貢献」	(3)	A 97
化学教育有功賞：大槻 勇氏「化学教育における新しい教材の開発」	(3)	A 98
化学教育有功賞：鬼島正雄氏「千葉県における高校理科教育の振興」	(3)	A 99
化学教育有功賞：野田四郎氏「高校化学教育における指導理念の確立と実験法の開発」	(3)	A100
化学教育有功賞：松尾博之氏「広島県における小・中・高等学校化学教育の振興」	(3)	A101
化学教育有功賞：矢後一夫氏「富山県・北信越地区の化学教育の振興」	(3)	A102
化学研究技術有功賞：紫藤道生氏「元素分析による学界への貢献」	(3)	A103

〔レ ー ダ ー〕

インド化学会創立60周年式典と記念シンポジウムに参加して……関根 達也 (1) 48	
「核化学および放射化学国際会議」に出席して……甲田 善生 (1) 48	
開会まじかの EXPO '85 科学万博……佐藤 勇 (1) 50	
筑波研究学園都市のあらし……小林道夫・矢村 昭 (2) 134	
1984環太平洋国際化学会議レポート……大木 道則	
安藤 亘・米澤真次郎・米田達水・小林道夫・矢村 昭 (2) 134	
〔化学新海外事情〕	
流動層を用いる新しい接触燃焼プロセス	
故 G. K. Borekov・E. A. Levitskii・Z. R. Ismagilov・宮本 明 訳 (3) 218	
第9回国際ラマン分光学会を終えて……田隅 三生 (3) 220	
第7回国際有機ケイ素化学会議を終えて	

……石川 満夫 (3) 222	
国際シンポジウム「酸と塩基の触媒作用」に出席して……難波征太郎 (3) 224	
人工放射能発見50周年記念国際シンポジウムに出席して……斎藤 信房 (3) 224	
第50春季年会をかえりみて…… (6) 452	
第50春季年会ハイライト…… (6) 454	
「化学と化学工業」国際シンポジウムを終えて…… (7) 548	
Bürgerstock 立体化学会議に出席して……山本 尚 (8) 625	
イオン選択性電極国際シンポジウムに出席して……内山 俊一 (8) 625	
科学万博に化学を求めて……ニュース小委員会 (8) 628	
リン、ケイ素、および硫黄の化学、特にその共通点についてのシンポジウムに出席して……櫻井 英樹 (9) 711	
第7回プラズマ化学国際シンポジウム (ISPC-7) に出席して……野村 興雄 (9) 711	
第3回 Maillard 反応国際シンポジウムに参加して……川村倉一郎 (10) 789	
「化学展 '85」明日をひらく化学」を終って…… (11) 868	
第8回国際化学教育会議を終えて……井上 祥平 (11) 870	
第51秋季年会をかえりみて…… (12) 970	
第51秋季年会ハイライト…… (12) 974	
国際自由基化学学術討論会に出席して…… (12) 978	
錯体化学若手の会—夏の学校— (12) 979	

〔指 標〕

*「教育の基本問題を考えるIV—企業とひと」を特集して…… (1) 24	
*「化学のフロンティア」を企画して…… (2) 166	
*「燃焼と爆発—プロメテウスの火」を特集して…… (3) 184	
*「計算「器」化学—フラスコにかえて計算機を」を特集して…… (4) 271	
*「謎われ元素の効用—As, Hg, Cd……の化学」を特集して…… (5) 363	
*「イメージングテクノロジー—科学万博によせて」を特集して…… (6) 417	
*「くだおれの化学—グルメの世界」を特集して…… (7) 573	
*「新ファープル昆虫記—物質サイドからのアプローチ」を特集して…… (8) 600	
*「つなぐ化学—生命から宇宙まで」を特集して…… (9) 662	
*「超・薄・微の世界—ハイテクをひらく」を特集して…… (10) 748	
*「ゼオライト—この古くて新しいもの」を特集して…… (11) 829	
*「化学のフロンティアII—若き研究者の周辺で……」を特集して…… (12) 917	

〔ド ラ フ ト〕

文字酸 (Letter Acid)・カルチャーコレクション (Culture Collection)・鋼鉄より強いポリエチレン・Isocratic elution…… (1) 44	
巨大ラマン散乱を利用した生体物質の分光分析・ワインの品質にかかわる化合物—2種・微生物の基質特異性・EXAFS…… (2) 131	
有機溶媒中で機能する酵素・バイオ農薬・土質安定の問題・海洋生化学資源 (Marine Biochemical Resources)…… (3) 216	
π (パイ)-ファクター・セラミックスにおける有害物質・体内の麻薬・PTS：フォトサーマルスペクトロスコピー…… (4) 294	
バクテリアによる人工雪製造・開発進む磁気記録材料・いもの煮えたととき・「有=無」?…… (5) 376	

オプトロードはセンサーだ・Exo-electron・ 微量リンの定量と燃焼反応の磁場効果・ Hydrocarbation-C [≡] B?.....	(6)	447
エキスパート・システム; QCMP; 液晶の 強誘電性; 地層中のイリジウム・オスミウ ムは語る.....	(7)	547
光触媒による水処理・レーザーを用いる化学 緩和法・ランタノイド金属・赤い金、青い 金.....	(8)	626
第5族元素間の二重結合・ケイ素を含む多重 結合・3中心4電子結合の最近の話題・新 しい遷移金属-炭素結合.....	(9)	706
Monoxygenase・固体の酸素を有機合成に・ [5]パラシクロファン・OSC (Outer- sphere complex).....	(10)	790
電脳・イオン注入・化学と推理小説・人工知 能.....	(11)	866
"化学結合"するアモルファスシリコン中の 不活性ガス・最近の呼吸分析・エキゾアノ マー効果・松脂の引越.....	(12)	968

〔かんわじかん〕

さんぼみち "元素と車のたわいないお話"・ 冗句 "古典工業化学"・今月の表紙.....	(1)	45
さんぼみち "明大周辺散歩ミニ情報-春季年 会の合間にどうぞ".....	(2)	132
さんぼみち "福沢諭吉と化学"・"「化学本論」 と宮沢賢治の思想".....	(3)	217
さんぼみち "CHEMAZE・CHEM RAIN"・ 今月の表紙 "東京大学理学部化学教室ガラ スモデルによせて".....	(4)	295
さんぼみち "カントと化学"・"黒砂糖を食べ れば虫歯にならない!?"・冗句 "堂々巡り".....	(5)	377
金沢城址散策ミニガイド-秋季年会の合間に どうぞ・秋季年會会場付近イラストマップ	(6)	448
さんぼみち "上方くいだるき".....		
* 神戸の異国の味.....片岡 邦夫 (7)	521	
* 大阪くいだおれ.....湯川 泰秀 (7)	521	
* 古都の味東西南北.....今西 幸男 (7)	522	
"日本酒のすすめ".....		
* 広島酒一西条酒について.....秋葉 欣哉 (7)	522	
* 灘の酒.....竹村 成三 (7)	523	
* 伏見の酒.....栗山 一秀 (7)	523	
"味あれこれ".....塩川 二郎 (7)	524	
* "涼をさそう上方の味".....清水 剛夫 (7)	525	
さんぼみち "花の鏡像体"・"奇術と化学".....	(7)	526
さんぼみち "省エネルギーお茶二題"・"江 戸時代の化学実験にどんな器具が使われた か".....	(8)	627
さんぼみち "4個の元素名を生んだスウェー デンの寒村"・"超音速分子流・超臨界流体、 そして超....."	(9)	707
さんぼみち "化学雑誌番付表?".....	(10)	791
さんぼみち "スペイン語の化学用語"・"誤解 の化学".....	(11)	867
さんぼみち "ギーゼンのレントゲン記念碑"・Q&A "イッキ!それともチビチビ?".....	(12)	959

〔資 料〕

〔特集関連施設紹介〕

* 船橋市北部清掃工場の熱分解設備.....	国府 三郎 (3)	206
* 東北大学の燃焼限界実験施設.....	三浦 隆利 (3)	207

* 化学技術研究所の爆発実験施設.....福田 健三 (3) 208

〔アイディア〕

容量可変液-液連続抽出器.....	村田 静昭 田川 辰美 (4)	313
圧力平衡用側管付滴下漏斗を利用した水の除去法	木村 勝 (4)	313
フラスコのすり栓にとり残されたすり合わせ ガラス部分の脱着法.....	関根 光雄 (8)	650
簡単な硫化水素発生法.....	中塾 邦夫 (11)	893

〔ブ ラ ザ〕

何か変だ「教育の基本問題を考えるIV-企業 とひと」を読んで・本誌に「総説」欄の復 活を.....	(3)	174
高度技術と基礎教育.....	(7)	502
第50春季年会の運営方式に対する疑問.....	(8)	584

〔新 製 品 紹 介〕

高速液体クロマト用光学活性充填カラム.....	(3)	215
高純度レシチン.....	(7)	546
V. T. (2,4-ジアミノ-6-ビニル-s-トリアジン).....	(11)	876

〔トピックス〕

〔物理化学・分析化学〕

85001 分子内のエネルギーの流れと SVL 蛍光.....	(1)	61
85002 定温定圧分子動力学法による計算機実験		
85003 光増感電子移動反応によるヘキサメチルデ ュワーベンゼンのヘキサメチルベンゼンへの異 性化反応: カチオンラジカル中間体		
85004 化学発光を用いる尿中のシュウ酸の定量法		
85016 吸着分子の内殻励起を利用した新しい分 光法-NEXAFS 法.....	(2)	148
85017 "逆転領域"の電子移動		
85033 単振動から共鳴振動へ、秩序からカオスへ -多形になった化学振動現象.....	(3)	225
85034 赤外吸収強度から原子の電子密度をみつも る		
85035 モード同期ビコ秒レーザーと干渉計を用い た蛍光除去ラマン分光法		
85047 二波長レーザーにより生成する分子の高振 動励起状態の光音響効果法による検出.....	(4)	296
85048 誘導ラマン効果を用いた高感度 NMR 測定 法		
85049 ヒスタミン-オルトフタルアルデヒド反応 で生成する蛍光物質		
85062 電極反応解析への Surface Enhanced Raman Scattering (SERS) の応用.....	(5)	378
85063 微量元素の固-液相間分配係数の推算		
85078 チオール類の新規蛍光検出試薬.....	(6)	460
85079 過去の大気中の二酸化炭素濃度を探る		
85094 ポリチオフェンの光誘起吸収スペクトル.....	(7)	550
85095 固体窒素膜の共鳴電子散乱		
85096 流通式分析操作による水質自動連続計測		
85114 高分散 Rh/γ-Al ₂ O ₃ 触媒の EXAFS によ るキャラクタリゼーション.....	(8)	631
85115 分子間力を直接測定する新しい方法		
85116 放射線の LET 効果		
85117 溶液噴霧試料の直接導入によるマイクロ波 誘導プラズマ発光分析法		
85131 紫外共鳴ラマン分光法の生物化学への応用 -ジペプチドの選択的励起.....	(9)	716
85132 ホッピング電気伝導の温度依存性		

85133	二分子膜系を利用した化合物計測	
85134	エビタキシーで CO の新結晶層をつくる	
85134	時間分解紫外光電子分光	(10) 792
85158	固体表面との衝突による分子の解離反応	
85159	超音速分子線法を用いた触媒化学への新しいアプローチ	
85160	極微小電極を用いる電気化学分析法	
85173	亜鉛起電子の熱平衡化過程	(11) 877
85174	3-置換-ジアリジンの光化学反応における複分解過程	
85175	溶液中の分子の小さな振動数シフト	
85176	Cyclobond を用いるアミノ酸の光学異性体分離 [無機関連化学]	
85005	置換不活性型コバルト(III)錯体の速いラセミ化反応	(1) 64
85006	薄膜リチウム固体電池	
85018	ランタノイド(III)フタロシアニン錯体の特性	(2) 150
85019	高い酸化数をもつルテニウム(IV)錯体の生成とその構造	
85020	カルコゲナイドガラス半導体の化学修飾	
85036	ニトロシルルテニウム錯体の ^{51}N NMR スペクトル	(3) 228
85037	包接化合物の構築	
85038	Cu 含有アミン酸化酵素の補酵素	
85050	銅亜鉛スーパーオキシドジスムターゼ(酵母)のサブユニット間における活性部位の非等価性	(4) 299
85051	スクレオチドの加水分解モデル反応: コバルト(III)および白金(II)錯体によるトリリン酸の加水分解促進機構	
85064	深海底堆積物中の宇宙起源物質	(5) 380
85065	Gd-DTPA: NMR イメージング造影剤	
85066	DNA のらせん構造を「選択」する金属錯体	
85080	擬四面体ルテニウム錯体上での配位子変換反応の立体化学	(6) 460
85081	バナジウム(II)-バナジウム(II) およびバナジウム(I)-バナジウム(I)二核錯体	
85082	Hydrocarbanion—遷移金属複核錯体上での新しい炭素-炭素結合生成反応	
85083	プロトン導電率の高いガリウム化合物 β'' -アルミナ型 NH_4^+ ガレート	
85097	強塩基性溶液からの金属イオンの分離回収	(7) 553
85098	最近の有機アクチノイド化学	
85099	モデル錯体によるリン酸代謝過程へのアプローチ: リン酸およびリン酸エステル錯体の構造と加水分解反応	
85100	チタン上の水酸アモライト膜のオージェ分析	
85118	赤外パルスレーザーによる気相の無機化合物の光増感反応	(8) 635
85119	コバルト(III)錯体の異性化におけるスピン変化の役割	
85120	Liquid Clathrate	
85121	光合成の酸素発生系モデルとしてのルテニウム-2,2'-ビピリジン錯体	
85135	月から来たいん石	(9) 720
85136	混合原子価化合物	
85137	$[\text{Fe}(\text{phen})_3]^{2+}$ と界面活性イオン間の疎水性相互作用—錯体のラセミ化および配位子解離速度をプローブとして	
85138	Long-range Through-protein 電子移動反応	
85161	イミダゾールの pK_a に与える金属イオン	

の影響

(10) 796

85162 高レベル放射性廃棄物のリン酸化合物による固化

85163 最近のシクロファンポルフィリン金属錯体およびその関連化合物の動向

85164 ホスフィンの光化学—惑星大気化学—

85177 フェノール性水酸基を持つ大環状テトラアミンの簡便な合成法とその鉄錯体

(11) 881

85178 Eu(III) 錯体のレーザー励起スペクトルを用いる金属タンパク質の構造研究

85179 スピントロニクス—錯体におけるスピン転移速度

85180 フッ化物ガラスのメスバウアースペクトル

85181 TRUEX 法—高レベル放射性廃液中の超ウラン元素分離法
[有機化学・有機工業・高分子化学]

85007 ケトンシリルエノールエーテルのトランスメタル化反応

(1) 66

85008 histrionicotoxin 合成に関する最近の話題

85009 Hole Catalysis: ラジカルカチオンによる付加環化反応

85021 フッ化物イオン(F⁻) によるリン上への求核攻撃の活性化

(2) 153

85022 最近の不斉水素化反応—Hydroxy-Directed Hydrogenation

85023 有機化学における磁場効果

85024 ポリエチレングリコール類の相間移動触媒作用

85039 チタン(IV)—光学活性 酒石酸誘導体錯体の不思議

(3) 231

85040 分子内 imino Diels-Alder 反応を用いたスベルミジンアルカロイドの合成

85041 1-フルオロ糖を用いるグリコシド化反応

85052 アニオン性含フッ素 5 配位子ケイ素化合物の反応

(4) 302

85053 全芳香族ポリエステル類の新しい合成法

85054 シクロプロパン環の開裂を基盤とする活性型ビタミン D 合成法の開発

85067 ラジカルイオン対におけるプロトン移動—トルエンカチオンラジカルの酸性度

(5) 383

85068 シグマトロピー転位によるアリルセレンドからアリルアミン誘導体の合成

85069 長鎖脂肪酸の高級アルコールへの還元

85084 電子移動光増感反応—cosensitizer を用いる光酸素酸化反応

(6) 465

85085 ビタミン E の不斉合成

85086 Cyclopentanoid 天然物合成に見る最近の工夫

85087 シクロブタン環の開環によるオキソシノンの合成

85088 ヘテロ Diels-Alder 反応を用いる天然物合成

85089 タキサン型ジテルペンの合成

85101 ジヒドロチアジン誘導体を用いる 1,2-ジアミンの立体選択的合成

(7) 557

85102 リン原子を利用した不斉合成反応

85103 ラジカル環化反応を用いる天然物合成

85104 大環状化合物による分子認識—分子間水素結合の役割

85105 α -ケトエステルの立体選択的還元

85122 ニトロンの分子間 1,3-双極子付加環化反応を用いるアミノ糖の合成

(8) 639

85123 シクロデキストリンポリマーの新展開

85124 有機アルミニウム試薬を活用した高選択的不斉合成反応

85125 抗腫瘍性プロスタグランジンの合成

85139 無機系カラムによる有機物の光学分割……………	(9)	724
85140 分子内 Wittig 反応を用いた環化反応……………		
85141 ラジカルカチオンの開裂を伴う光電子移動反応……………		
85165 ラジカルイオン構造—光 CIDNP 法による アプローチ……………	(10)	800
85166 五員環形成反応における最近の話題……………		
85182 高分子金属錯体の新しい機能……………	(11)	885
85183 電極反応を利用した有機合成……………		
85184 中性糖を有する新規アントラサイクリンの合成 〔生体関連化学〕……………		
85010 Sulfazecins の フッ素グループによる修飾……………	(1)	70
85011 抗体の糖鎖の役割……………		
85012 新合成抗真菌薬 SF 86—327……………		
85013 インターカレーターによる DNA 鎖切断の機構……………		
85025 合成機構からのロイコトリエン合成阻害剤 のドラッグデザイン……………	(2)	157
85026 造影剤による補体の活性化……………		
85027 構造の見直しが必要な抗腫瘍性物質 dolastatin 3……………		
85042 食品加工に Extrusion-Cooking をどこまで 利用できるか……………	(3)	235
85043 IgE 抗体産生の制御……………		
85044 肥満細胞と化学伝達物質の遊離……………		
85055 チロシン tRNA 合成酵素の改変……………	(4)	305
85056 RNA の自動合成……………		
85057 細胞膜におけるガングリオシドの一つの役 割はフィブネクチンのレセプターか?……………		
85070 食品中のリジノアラニンの生成……………	(5)	385
85071 新構想制がん性白金錯体の開発……………		
85072 mRNA の固定化と第 3 のタンパク質産生法……………		
85073 生体内生活性物質としてのガングリオシド……………		
85074 カルシウム摂取による高血圧症治療の可能性……………		
85075 相克する二つのペプチド; VIP と Substance P……………		
85090 核医学に利用される標識化合物 L-[3- ¹⁴ C] phenylalanine の迅速合成……………	(6)	473
85091 制がん剤 CC-1066 の作用機作……………		
85106 微生物の生産する新除草剤 bialaphos……………	(7)	563
85107 タンパク質の人工変換……………		
85108 化学受容器のモデル化……………		
85109 化学合成ペプチドを用いた B 型肝炎ウイルス (HBV) の新しいマーカー……………		
85126 新酵素フェニルアラニンデヒドロゲナーゼ とその応用……………	(8)	644
85127 エンハンサー領域—その機能の解明……………		
85142 タバコの煙はヒトの細胞の DNA 鎖の切 断を誘発する……………	(9)	727
85143 熱帯産魚類の猛毒マイトキシンの薬理作用……………		
85144 Na ⁺ チャネルの構造……………		
85167 植物 DNA ウイルスの複製様式……………	(10)	802
85168 ロイコトリエン C ₄ は新しい神経調節物質?……………		
85169 ヘムを含まない P-450?……………		
85185 銅を含む酸化酵素 (ラッカーゼ) 内におけ る電子の流れ……………	(11)	889
85186 二次元 NMR による生体関連分子の溶解構 造の解析……………		
〔資源エネルギー・環境化学・化学工学〕……………		
85014 金属蒸気を有機溶媒中で凝縮した触媒によ る CO 水素化反応……………	(1)	74
85015 新しい重質油軽質化複合プロセス……………		
85028 晶析操作とラマンズベクトル……………	(2)	160
89029 放射性トレーサーを用いる石炭液化反応機 構の検討……………		
85030 Fe 触媒上の CO-H ₂ 反応の活性点……………		

85031 微生物による石油三次回収……………		
85032 同位体生物地球化学の新しい流れ —ヒトを試料とする研究例を中心として—……………		
85045 開発が進む石炭の高濃度水スラリー技術……………	(3)	238
85046 海水中 0.1 ppb レベル重金属の PIXE 分析……………		
85058 水素吸蔵合金 LaNi ₅ D ₂ の構造……………	(4)	308
85059 新しい液体膜としての高分子/液晶複合膜 の開発……………		
85060 最近の液膜法による炭化水素の分離操作……………		
85061 水蒸気を用いた木材の接触ガス化によるメ タノールの合成……………		
85076 アルカリ金属炭酸塩を触媒とする石炭のガ ス化機構……………	(5)	391
85077 水中の各種形態別リンの自動分析装置の開発……………		
95092 大気中の極低濃度ペルオキシラジカルの 定量……………	(6)	475
85093 大気中テルペン類の環境インパクト……………		
85110 超強酸による石炭の液化……………	(7)	567
85111 高等植物からの揮発性成分とそのゆくえ……………		
85112 高速流動層は固体反応に新たなブレークスルー を作るか……………		
85113 低レベル熱エネルギー有効利用プロセス……………		
85128 インドールおよびインドリンを用いた石炭 液化反応……………	(8)	646
85129 Mg-S-I 系熱化学サイクルの実証運転……………		
85130 置換基の導入による導電性高分子の特性変化……………		
85145 石炭液化におけるレオロジー……………	(9)	730
85146 電算機による化工物性推算法……………		
g5170 オイルシユールの新しい水素化乾留試験法……………	(10)	805
85171 石炭液化における重質生成物の新しい分析法……………		
85172 He-Ne レーザー光を用いた大気中元素炭 素の非破壊分析……………		
85187 光合成初期過程におけるカロチノイドの寄与……………	(11)	891
85188 環境中のセレンの挙動……………		

〔会 告〕

(1)A1	(2)A35	(3)A59	(4)A211	(5)A239
(6)A271	(7)A307	(8)A347	(9)A472	(10)A535
(11)A605	(12)A639			

〔次 号 予 告〕

(1)37	(2)102	(3)180	(4)267	(5)335	(6)413
(7)530	(8)588	(9)675	(10)751	(11)837	(12)933

〔寄 贈 書 か ら〕

(1)60・76	(3)242	(4)312	(5)394	(6)477	(7)572
(8)649・650	(9)692・695	(10)809	(12)984		

〔求 人・求 職〕

(1)46	(2)168	(3)240	(4)314	(5)396	(6)478
(7)574	(8)652	(9)714	(10)812	(11)896	(12)980・981

〔掲 示 板〕

(1)77	(2)167	(3)241	(4)316	(5)398	(6)480
(7)576	(8)651	(9)712	(10)810・811	(11)894	(12)982・983

〔本 会 記 事〕

(1)78	(2)170	(3)243	(4)317	(5)399	(6)482
(7)577	(8)654	(9)733	(10)814	(11)898	(12)985

〔広 告 索 引〕

(1)80	(2)172	(3)246	(4)322	(5)404	(6)500
(7)580	(8)656	(9)736	(10)816	(11)600	(12)996

〔今月の表紙〕

(1)45 (4)295 (7)525 (10)789

〔役員紹介〕

(4)320

〔正誤訂正〕

(1) 11 (5)353 (7)539・579 (8)609 (9)678・699
(11)833 (12)961

〔本会だより〕

企画構想委員会について	(1)	A7
「化学と化学工業」国際シンポジウム International Symposium on The Future of Chemistry and Chemical Industry 開催のお知らせ	(2)	A39
化学の顔—会誌について	(2)	A40
第8回国際化学教育会議	(3)	A65
本会の財政問題について	(5)	A244
化学展'85「明日をひらく化学」	(7)	A313
「新材料創成に関する基礎的研究」の提案について	(10)	A543
若い世代の特別講演会の開催について	(11)	A609
生体機能関連化学部会の発足に当って	(12)	A642

〔学術会議だより〕

180 研究連絡委員会の設置決まる	(1)	A8
日本学術会議第98回総会(臨時)報告	(10)	A557
第13期活動計画決まる	(12)	A652

〔IUPACから〕

IUPAC Recommendations on Nomenclature and Symbols	(3)	A70
IUPAC Recommendations on Nomenclature and Symbols	(4)	A224
IUPAC Recommendations on Nomenclature and Symbols	(5)	A247
IUPAC Recommendations on Nomenclature and		

Symbols	(7)	A329
IUPAC Recommendations on Nomenclature and Symbols	(8)	A362
IUPAC Recommendations on Nomenclature and Symbols	(10)	A597
IUPAC Recommendation on Nomenclature and Symbols	(12)	A651

〔その他〕

第50春季年会参加登録・講演予稿集の予約申込方法	(1)	A2
昭和60年度代議員および役員等選考委員	(1)	A18
世界主要化学関係国際会議一覧	(1)	A20
論文誌投稿規則および投稿の手引	(1)	A21
第51秋季年会ほか合同大会	(2)	A37
学会講演用 OHP フィルムの作り方	(2)	A42
第50春季年会プログラム	(2)	A104
第38回通常総会案内	(3)	A61
昭和60年度各賞受賞候補者の募集について	(3)	A61
昭和60年度他機関の賞、助成金の推薦候補者募集	(3)	A62
原子量表・物理定数表	(4)	挿込み
第51秋季年会関係講演申込要項	(4)	A215
外国人名誉会員推薦のお知らせ	(6)	A277
昭和60年度委員会・編集委員会・専門委員会等委員	(7)	A330
世界主要化学関係国際会議一覧	(7)	A333
論文誌投稿規則および投稿の手引	(7)	A336
第8回国際化学教育会議プログラム	(8)	A350
昭和60年度他機関の賞、助成金の推薦候補者募集	(8)	A364
第51秋季年会(含連合討論会)・化学関係学協会連合協議会研究発表会合同大会プログラム	(8)	A404
第53秋季年会(含連合討論会)・化学関係学協会連合協議会研究発表会・中部化学関係学協会支部連合秋季大会合同大会	(9)	A483
IUPAC 個人会員入会のおすすめ	(10)	A539
日本化学会第52春季年会講演募集および講演申込要項	(10)	A545

トピックス欄へのご寄稿について

化学と工業編集委員会
トピックス小委員会

本誌トピックス欄は、現在もっとも新しく、かつ興味ある研究テーマをわかりやすく紹介することを目的として設けられております。

このたびトピックス小委員会では、この欄をますます面白く、皆様に親しまれるものとするために、会員各位から積極的に原稿を募集、掲載してゆくことになりました。

下記要項によりご寄稿下さいませようお待ちしております。

1) 記事の内容: 主な紹介論文の出版は、原則として発表されて1年以内の国内外の信頼ある学術報告、雑誌などからとし、非専門分野の読者にも理解できるように、わかりやすく書いて下さい。なお、執筆者自身の文献の引用はお避け下さい。

2) 原稿の長さ: 本欄は抄録形式ですので、図表を含めて原稿用紙(横書き1枚25×15行)で4~6枚程度(約2,300字)。専用原稿用紙ならびに執筆の手引は下記に用意してありますので、ご請求下さい。

3) 原稿送付先: 101 東京都千代田区神田駿河台1-5 社団法人 日本化学会「化学と工業」トピックス小委員会(電話(03)292-6166)

4) 掲載にあたって:

- 原稿は小委員会において、専門、非専門の委員(複数)で査読させていただきます。
- 採否につきましては本小委員会にご一任下さい。原稿についての連絡先(執筆者通信先)を明記して下さい。
- 著者校正は省略させていただきますので、原稿は明確にお書き下さい。
- 掲載後、薄謝をお送りします。

広 告 索 引

書 籍・雑 誌

(株)化学同人	(157)
(株)近代編集社	(162)
(株)東京化学同人	(61)の前
裳華房	(160)・(161)
(株)培風館	(160)
丸善(株)	(158)・(159)
森北出版(株)	(163)

実 験 機 器

東電機工業(株)	(172)
(株)小畑製作所	(171)
木下理化工業(株)	(186)・(187)
(株)三英製作所	(4)
新東科学(株)	表紙 2
(株)日東反応機製作所	(172)
ヤマト科学(株)	(24)

分析機器・測定機器

アステック(株)	(32)・(183)
アルバックファイ(株)	(60)
エムエス機器(株)	(188)~(191)
(株)エルマ	(36)
(株)大倉理研	(29)
応用分光機器(株)	(46)
三洋貿易出版(株)	(184)・(185)
システムサイエンス(株)	(169)
柴田科学器械工業(株)	(56)
(株)島津製作所	(48)の後・(49)~(55)
セイコー電子工業(株)	(3)・(30)
(株)ゼネラル サイエンス	
コーポ・レーション	表紙 2
関商事(株)	(181)
(株)司測研	(173)
電子科学(株)	(58)・(59)
トレイコア ノーザン 日本支社	(179)
東亜電波工業(株)	(33)の前
東洋曹達工業(株)	(23)
ニコレー・ジャパン(株)	(34)
西尾工業(株)	(167)
日合商事(株)	(173)
(株)日科機	表紙 4・(21)
二光バイオサイエンス(株)	(175)
日本アナリスト(株)	(26)
日本ウォーターズ リミテッド	(60)の後
日本エム・ケー・エス(株)	(31)
日本クロマト工業(株)	(22)
日本電子(株)	(182)
(株)日本分光メディカル	(171)
日本分光工業(株)	(39)

野崎産業(株)	(42)
(株)ハイ テクノロジー	(43)
(株)パーキン エルマー ジャパン	(56)の後
バリアン インスツルメンツ リミテッド	(25)
(株)日立製作所	(35)・(37)
ベックマン ジャパン(株)	(38)
(株)堀場製作所	表紙 3
(株)明峰社製作所	(165)
柳本商事(株)	(192)
(株)山崎精機研究所	(44)
(株)山村化学研究所	(40)
(株)ユニオン技研	(47)
横河北辰電機(株)	(41)
若井田理学機器(株)	(167)

試 薬

関東化学(株)	(28)
東洋汙紙(株)	(33)

工業薬品・資材・製品

石原産業(株)	(165)
市村金属(株)	(174)
関西触媒化学(株)	(45)
(株)クリスタル スペクトラ	(44)
第一工業製薬(株)	(45)
半井化学薬品(株)	(170)
日曹ベントロン(株)	(166)
日本エンゲルハルド(株)	(60)の後
日本新金属(株)	(166)

工業機器・装置

(株)新井製作所	(174)
コーナ システム(株)	(180)
佐竹化学機械工業(株)	(176)
スルーザー ブラザーズ(日本)(株)	(177)
東京アトマイザー製造(株)	(170)
日本チェンギヤー無段変速機(株)	(175)
(株)ノリタケ カンパニー リミテッド	表紙 3

人 材 募 集

東京エイジ(株)	(164)
(株)日本マンパワー	(164)

そ の 他

アップ科学(株)	(57)
(社)化学情報協会	(27)・(32)の後
(財)材料科学技術振興財団	(48)
(株)テクノパーク	(169)
東洋サイエンス(株)	(168)
日本ビーシーシステムズ(株)	(163)
(株)日本分析機器工業会	(178)

